

令和4年度 通常総会

日時:令和4年5月9日(金) 13:30～15:00

場所:静岡市産学交流センターB・nest(ペガサート)

(静岡県静岡市葵区御幸町3番地の21)

一般社団法人 静岡県地質調査業協会

令和4年度 通常総会次第

1. 開式の辞
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議 事

第一号議案 令和 3年度事業報告について

第二号議案 令和 3年度収支決算並びに監査報告
について

第三号議案 役員改選について

第四号議案 令和 4年度事業計画(案)について

第五号議案 令和 4年度収支予算(案)について

第六号議案 入会及び任意退社規程(案)について

5. 報告事項

その他

6. 閉会の辞

令和3年度 事業報告

令和3年 (2021)	4月19日	中部協会理事会 名古屋ガーデンパレス
	4月20日	理事会
	5月7日	中部協会理事会総会 名古屋ガーデンパレス
	5月10日	県協会技術委員会 ペガサート
	5月14日	総会 ペガサート
	6月1日	中部協会理事会 リモート
	6月18日	中部協会60周年特別委員会理事会 リモート
	6月24日	農地局との意見交換会(AM) 県庁内会議室
	6月24日	交通基盤部との意見交換会(PM) 県庁内会議室
	7月5日～7月26日の5日間	県土木、農林事務所挨拶廻り
	7月12日	国土交通省7事務所と3団体の意見交換会・懇親会 中島谷
	7月30日	地盤技術研修会 ペガサート
	8月3日	中部協会理事会 名古屋ガーデンパレス
	8月25日	静岡県土木技術職員研修 土質・地質調査研修(初級) 講師派遣
	8月30日	中部協会理事会 リモート
	9月7日	第1回静岡県ICT推進協議会 副会長参加
	10月13日	第1回掛川市沢地区林地開発評価委員会
	10月15日	静岡県土木技術職員研修 建設現場における社会的環境研修 講師派遣
	10月18日	中部協会理事会 名古屋ガーデンパレス
	10月22日	静岡県土木技術職員研修 土質・地質調査(中級) 講師派遣
	11月9日	袋井市との災害協定締結式 袋井市役所
	11月10日	理事会
	11月14日	第2回掛川市沢地区林地開発評価委員会
	11月29日	中部協会理事会 名古屋ガーデンパレス
	12月16日	臨時総会 ペガサート
令和4年 (2022)	1月6日	建設関連業4団体 県知事新年あいさつ 県庁
	1月14日	富士宮市との災害協定締結式 富士宮市役所
	1月17日	中部協会理事会 名古屋ガーデンパレス
	1月19日	理事会

令和4年 (2022)	1月25日	建設関連業4団体 独占禁止法講習会
	2月17日	建設関連業務委託における安全対策について 工事検査課長 ペガサート
	2月28日	中部協会理事会 名古屋ガーデンパレス
	3月1日	磐田市との災害協定締結式 磐田市役所
	3月16日	中部協会理事会 名古屋ガーデンパレス
	3月30日	理事会

令和3年度 決算報告書(案)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

収支計算書

I 収入の部

単位: 円

科 目	予算額	決算額	差 異	備考
会費	3,840,000	3,840,000	0	
入会金	0	0	0	
補助金	310,000	308,000	2,000	中部地質調査業協会260,000円 建産連48,000円
雑収入	10,000	20,025	△10,025	「土と岩」原稿料20,000円 受取利息25円
当期収入合計(A)	4,160,000	4,168,025	△8,025	
前期繰越収支差額	1,525,723	1,525,723	0	
収入合計(B)	5,685,723	5,693,748	△8,025	

II 支出の部

科 目	予算額	決算額	差 異	備考
事業費	2,200,000	865,962	1,334,038	地盤技術講習会, 国交省意見交換会, 発注者挨拶など
会議費	800,000	218,691	581,309	理事会費など
旅費交通費	350,000	208,040	141,960	中部地質調査業協会会議出席など (会長、各委員)
備品・消耗品費	50,000	15,840	34,160	
広告宣伝費	90,000	264,000	△174,000	建通新聞社(職員録・新春・静岡理工科大)
図書費	50,000	5,000	45,000	
会費	90,000	81,000	9,000	建産連他
事業所費	300,000	240,000	60,000	事務所費、印刷費
雑費	30,000	27,115	2,885	振込手数料, WEB-PCなど
通信費	100,000	52,642	47,358	電話代, プロバイダー使用料など
予備費	1,625,723	0	1,625,723	
当期支出合計(C)	5,685,723	1,978,290	3,707,433	
当期収支差額(A) - (C)	△1,525,723	2,189,735	△3,715,458	
次期繰越収支差額(B) - (C)	0	3,715,458	△3,715,458	

注) 各科目に過不足を生じた場合、相互に流用できるものとする。

一般社団法人 静岡県地質調査業協会

財 産 目 録

令和4年3月31日現在

財 産 の 部

1. 定期預金	(静岡銀行草薙支店)					
1) 口座番号	0130525	預入日	令和	3年	6月	9日
						¥3,088,471
2) 口座番号	0130525	預入日	令和	4年	3月	31日
						¥1,006,789
3) 口座番号	0140189	預入日	令和	3年	6月	2日
						¥1,012,369
4) 口座番号	0140189	預入日	令和	4年	3月	31日
						¥1,009,618

小 計 ¥6,117,247

2. 普通預金	(静岡銀行草薙支店)	(口座番号0106920)				
			令和	4年	3月	31日現在
						¥3,715,458

3. 備品	パソコン	1台	(購入日平成30年4月10日)			
	プロジェクター	1台	(購入日平成24年9月20日)			
						¥9,832,705

負 債 の 部

該 当 な し
以上

監査報告

・監査報告

員野の更平8時令一更平S時令

会 計	監 査	報 告
協賛 部会	バレー部(対)	員会
同部 星土	時士富(対)	員会幅
一般社団法人 静岡県地質調査業協会の令和3年度収支決算について、 監査した結果、適正かつ正確に処理されていることを認めます。		
参国 星土	(対)業部星土	事野
バレー部(対) 時士富(対)	員大りよ(対)更平8時令	事野
代工 田県	モーサ(対)バレー部(対)	事野

令和 4年 3月31日

監 事 黒田了介

会 計	監 査	報 告
協賛 部会	バレー部(対)	員会
同部 星土	時士富(対)	員会幅
実 川部	(対)バレー部(対)本目	事野
参国 星土	(対)業部星土	事野
協賛 専小	モーサ(対)バレー部(対)	事野
代部 理中	真部理中(対)	事野

役員改選

令和2年度～令和3年度の役員

役職名	会社名	代表者名
会長	(株)ジーベック	松浦 好樹
副会長	(株)富士和	土屋 靖司
理事	日本エルダルト(株)	浅川 実
理事	土屋産業(株)	土屋 国彦
理事	令和3年10月より欠員	昭和設計(株)と中日本コンサルタント(株)の合併により
監事	(株)グランドリサーチ	黒田 了介

令和4年度～令和5年度の新役員

役職名	会社名	代表者名
会長	(株)ジーベック	松浦 好樹
副会長	(株)富士和	土屋 靖司
理事	日本エルダルト(株)	浅川 実
理事	土屋産業(株)	土屋 国彦
理事	(株)グランドリサーチ	小暮 充範
監事	(株)中野地質	中野 雄介

静岡県地質調査業振興基金
令和 4 年度事業計画(案)

事業内容	事業費	補助金	事業費	事業費	事業費
1. 地質調査技術の向上と普及に関する諸活動	1,000,000	500,000	500,000	500,000	500,000
2. 発注機関への要望等の諸活動	1,000,000	500,000	500,000	500,000	500,000
3. 地質調査業務の PR 活動	1,000,000	500,000	500,000	500,000	500,000
4. 独占禁止法遵守と啓蒙活動	1,000,000	500,000	500,000	500,000	500,000
5. その他、地質調査業の発展に関する諸活動	1,000,000	500,000	500,000	500,000	500,000

令和4年度 収支予算 (案)

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

収支計算書

I 収入の部

単位：円

科 目	予算額	前年度予算額	差 異	備考
会費	3,600,000	3,840,000	△240,000	15社×240,000
入会金	0	0	0	
補助金	310,000	310,000	0	中部地質調査業協会260,000 建産連50,000
雑収入	10,000	10,000	0	受取利息他
当期収入合計 (A)	3,920,000	4,160,000	△240,000	
前期繰越収支差額	3,715,458	2,358,180	1,357,278	
収入合計 (B)	7,635,458	6,518,180	1,117,278	

II 支出の部

科 目	予算額	前年度予算額	差 異	備考
事業費	2,200,000	2,200,000	0	ジオフォーラム、地盤技術講習会 発注者挨拶
会議費	800,000	800,000	0	総会、理事会、全体会議費、 忘年会費
旅費交通費	350,000	350,000	0	中部地質調査業協会会議出席 (会長、各委員)
備品・消耗品費	50,000	50,000	0	
広告宣伝費	160,000	90,000	70,000	建通新聞社他
図書費	50,000	50,000	0	
会費	90,000	90,000	0	建産連他
事業所費	300,000	300,000	0	事務所費12万円、事務所印刷代12万円、 税金2.1万円など
雑費	30,000	30,000	0	webバンキング
通信費	100,000	100,000	0	
予備費	3,505,458	2,458,180	1,047,278	
当期支出合計 (C)	7,635,458	6,518,180	1,117,278	
当期収支差額 (A) - (C)	△3,715,458	△2,358,180	△1,357,278	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	0	0	0	

注) 各科目に過不足を生じた場合、相互に流用できるものとする。

一般社団法人静岡県地質調査業協会

入会及び任意退社規定(案)

(目的)

第1条 この規定は、定款第6条と第8条に基づき、社員資格取得と任意退社に関する事項を定めるものとする。

(入会者の資格)

第2条 この法人の社員として新たに加加入する者は、次の条件を満たす者とする。

1. 静岡県内に本社があり、3年以上の地質調査業者としての実績のある地質調査業登録を有する者。
2. 地質調査業務に関する資格技術者の有する者
3. 役員3名以上の推薦を有する者

(入会申込み)

第3条 この法人の社員として新たに加加入する者は、次の書類を理事会に提出する。

1. 入会申込書
2. 誓約書
3. 技術監理者証明書の写し
4. 現場管理者証明書の写し
5. 上記技術監理者と現場管理者の住民票及び健康保険被保険者証の写し
6. 3年以上の地質調査実績台帳の写し
7. その他協会が必要とする場合は、経営等に関する書類等

(入会審査)

第4条 入会の申込みの審査及び入会の承認は理事会において行う。

(入会の承認)

第5条 入会の承認については、役員の過半数が出席し、その半数以上の承認により認める。

(入会承認の通知と会費等)

第6条 入会の承認及び否認については、文書にて通知する。

- 2 入会金と会費については、別途定めることとする。

(任意退社)

第7条 この法人を任意に退社する者は、退社届を会長に提出する。なお、会長が事故等により支障があるときは、副会長に提出する。

(任意退社の通知)

第8条 任意退社届を受けた会長または副会長は、直近の理事会及び社員総会に任意退社の報告を行う。

(入会金等の返納)

第9条 任意退社した者の入会金は、返納しない。また、会費については、任意退社届の提出月の会費まで納入する。

(施行日)

第10条 この規定は令和 年 月 日より施行する。

一般社団法人 静岡県地質調査業協会

令和4年度 通常総会議事録

1. 開催日時 令和4年5月9日 13:30～15:00
2. 開催場所 静岡市産学交流センター（静岡市葵区御幸町3の21）
3. 出席者 社員数 15名 出席者14名(表決委任状 2名)

4. 議事

第一号議案 令和3年度事業報告について

第二号議案 令和3年度収支決算並びに監査報告について

第三号議案 役員改選について

第四号議案 令和4年度事業計画(案)について

第五号議案 令和4年度収支予算(案)について

第六号議案 入会及び任意退社規定(案)について

5. 報告事項

1. 服部エンジニア(株)の任意退社について
2. 災害協定の締結について

6. 議事の経過の概要及び議決の結果

定刻、司会の土屋副会長は、本日の定時総会が定款第4章第18条に基づき社員総会が成立していることを宣言して開会した。

定款第4章 第16条により議長に松浦会長を選出し、議長は、定款第4章第19条により議事録署名人を日本エルダルト(株)浅川氏、(株)中野地質 中野氏を選出した。

第一号議案 令和3年度事業報告について

土屋副会長は、1. 地質調査技術の向上と普及に関する諸活動 2. 発注機関への要望等の諸活動 3. 地質調査業務のPR活動 4. 独占禁止法遵守と啓発活動 5. その他、地質調査業の発展に関する諸活動について報告した。

総会は別段の意義もなく、これを承認した。よって議長は、本議案は承認可決された旨を宣した。

第二号議案 令和3年度収支決算並びに監査報告について

会計担当土屋理事は、令和3年度の収支決算及び財産目録について報告した。

(株)グランドリサーチの代表の黒田監事が、今年の4月より小暮氏となったことによ

り、小暮氏より監査報告を行った。

一般社団法人静岡県地質調査業協会の令和3年度収支決算について、監査した結果、適切かつ正確に処理されていたことを報告した。

総会は別段の意義もなく、これを承認した。よって議長は、本議案は承認可決された旨を宣した。

第三号議案 役員改選について

会員の中から5名を選出して投票を行った。

開票の結果、得票数の上位5名を理事とした。

その後、理事会を開催して、会長に(株)ジーベック松浦氏、副会長に(株)富士和土屋氏を選出した。

会長より監事に(株)中野地質の中野雄介氏を指名した。

第四号議案 令和4年度事業計画(案)について

土屋副会長は、1. 地質調査技術の向上と普及に関する諸活動 2. 発注機関への要望等の諸活動 3. 地質調査業務のPR活動 4. 独占禁止法遵守と啓発活動 5. その他、地質調査業の発展に関する諸活動について説明した。

総会は別段の意義もなく、これを承認した。よって議長は、本議案は承認可決された旨を宣した。

第五号議案 令和4年度収支予算(案)について

会計担当土屋理事は、一般社団法人静岡県地質調査業協会の令和4年度収支予算(案)について説明した。

総会は別段の意義もなく、これを承認した。よって議長は、本議案は承認可決された旨を宣した。

第六号議案 入会及び任意退社規定(案)について

土屋副会長が、この規定については、定款第3章第6条の中にある「この法人の社員になろうとする者は、別に定める基準により入会申込書を理事会に提出し、理事会の承認を得るものとする。」の規定により別掲定める基準を定めるものである。既定の内容は、3年以上の地質調査業の実績、地質調査業務の資格技術者を有することなど、従前の規定を踏襲したものであると説明した。

総会は別段の意義もなく、これを承認した。よって議長は、本議案は承認可決された旨を宣した。

報告事項

1. 服部エンジニア(株)が本年3月末で退会したことを報告した。
2. 災害協定の締結を、本年度は袋井市、富士宮市、磐田市と締結した旨を報告した。

この議事録が正確であることを証するため、定款第19条に基づき、会長及び議事録証明人が記名押印する。

令和4年5月9日

会 長 松浦 好樹



議事録証明人 浅川 実



議事録証明人 中野 雄介

